

事業活動実績報告書

施設名	幼保連携型認定こども園まどか幼稚園
教育理念	子どもの主体的な遊び・活動を中心に環境を通して、心身とも健康で元気な子、自分の心と体を大切に自分以外の人の心と体も同じように大切にできる子、身近なものに興味を持つ子、自ら進んで活動ができる子、最後までやりぬく子、以上の5つの姿を持つ子どもを育成する。
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	投運動能力向上のための運動機会増進事業
2 実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

3 取組概要	<p>(取組日) 令和6年4月23日 ～ 令和6年6月23日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>3歳児 遊戯室 全身を使った遊びを提案し、腕の筋力の強化(遊びの中で身体を支える)、物を手で扱う経験を促した。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年4月25日 ～ 令和6年4月25日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>3歳児 遊戯室 年齢に合った用具(小さな玉入れの籠)を用意し、目標に向かって投げる経験を促した。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年5月14日 ～ 令和6年5月14日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>5歳児 園庭 運動指導者、担任の双方が関わり、人数を調整しながらドッジボールを行った。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年7月25日 ～ 令和6年8月1日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>1歳児 保育室 ペットボトルと輪を用いて目標に向かって投げ入れる経験をし、保育室でくり返し行えるようにした。</p>	

3 取組概要	<p>(取組日) 令和6年8月5日 ~ 令和6年8月5日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>1歳児 保育室 ビニール袋とゴムでヨーヨーのような用具を作り、手首の動きを意識する遊びの提案を行った。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年8月5日 ~ 令和6年8月13日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>1歳児 保育室 傘袋に空気を入れて遠くに飛ばそうとする動きを経験するように促した。継続して取り組めるように配慮した。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年8月5日 ~ 令和6年8月13日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>1歳児 保育室 傘袋に空気を入れて目標物(おばけの絵)を叩こうとすることで振る動きを経験するように促した。継続して取り組めるように配慮した。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年8月5日 ~ 令和6年8月13日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>2歳児 遊戯室 1歳児と同様に、傘袋に空気を入れて遠くに飛ばそうとする動きを経験するように促した。継続して取り組めるように配慮した。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年8月5日 ~ 令和6年8月13日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>2歳児 遊戯室 小さなビニール袋を団扇で浮かばせる遊びを提案することで、腕を大きく振る経験を促した。継続して取り組めるように配慮した。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年12月19日 ~ 令和6年12月19日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>2歳児 保育室 吊したボールを棒で叩く遊びを提案することで、目標物に方向を合わせて腕を振る経験を促した。継続して取り組めるように配慮した。</p>	

3 取組概要	<p>(取組日) 令和7年1月14日 ～ 令和7年1月14日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>3～5歳児 遊戯室 自由遊びでも用具を使えるようにすることで、異年齢でルールを決めて籠に向かって投入する遊びが見られた。</p>	
	<p>(取組日) 令和7年2月10日 ～ 令和7年2月10日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>0歳児 保育室 牛乳パックを用いて布から出てきたら叩くという遊びを提案することで、タイミングを合わせて叩く(腕を振る)経験をうながした。</p>	
	<p>(取組日) 令和6年2月10日 ～ 令和2年2月10日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>0歳児 保育室 ペットボトルに縛ったビニール袋を通し、強く引っ張ることを経験できるようにし、握力の向上を促した。</p>	
	<p>(取組日) 令和7年2月10日 ～ 令和7年2月10日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>1歳児 保育室 牛乳パックの両端を切り落としたものをヒコーキやロケットに見立ててフープに向けて投げる遊びを実施した。</p>	
	<p>(取組日) 令和7年2月13日 ～ 令和7年2月13日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>2～5歳児 遊戯室 自由遊び中にボールを交えた用具を複数用意することで、ボールを投げる、打つといった動きに加えて、ラケットにボールを載せてバランスをとるといった動きも見られた。</p>	
	<p>(取組日) 令和7年3月11日 ～ 令和7年3月11日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>5歳児 園庭 日常的な遊びの中で綱引きも取り入れることで、握力や全身の筋力の発達を促し、間接的に投運動にも役立つ力が育つように促した。</p>	

効果検証報告書

施設名	幼保連携型認定こども園まどか幼稚園
教育理念	子どもの主体的な遊び・活動を中心に環境を通して、心身とも健康で元気な子、自分の心と体を大切に自分以外の人の心と体も同じように大切にできる子、身近なものに興味を持つ子、自ら進んで活動ができる子、最後までやりぬく子、以上の5つの姿を持つ子どもを育成する。

事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
------------	--------------------------

1 事業名	投運動能力向上のための運動機会増進事業(継続)
-------	-------------------------

2 事業概要	低下傾向にある幼児の運動能力の中で特に投運動能力の向上を目指し、専任の運動指導者が常勤職として環境設定と指導を直接行う。
--------	--

計画時

3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 幼児体操教室に勤務経験のある運動指導者1名を専任常勤職として雇用している。 幼児の運動発達に専門で博士の学位を有する園長が管理をする。 園庭等の物的環境は特別区内では広い部類に入る。 指導に必要な教材を更新している。 昨年度は試験的に保育部門の0歳～2歳児クラスでも指導を行ったが、一定の効果が認められた。そのため今年度は継続的に0歳～5歳を対象に本事業を実施予定であるので、0～5歳の全ての担任も運動指導者と共に運動指導場面に関わる。
--------	---

事業後

3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 昨年度と同様に0歳児クラスから全ての学年で月に1回以上は計画的な運動遊びの設けることができた。年齢に合わせて園庭、遊戯室、保育室など使い分け、様々な場所で実施した。運動指導者と園長が相談し、手作り遊具なども制作する時間を設けることもできた。 特に今年度は遊びに取り入れたい動きについて、事前に担任から要望があったり、運動指導者が活動を実施後に担任も継続して行う姿が見られ、遊びの継続性が低年齢から保障され意図的な運動機会が増加した。担任が遊びをアレンジさせて展開することは難しいようなので展開例を数通り示した方がより活動が充実すると考えられる。
-------------	---

計画時

4 事業のねらい	課外活動などの運動指導とは異なり、子どもが主体的に運動したくなる環境を整備し、そこに運動指導者が常にいることでより豊かな運動経験を積むことができるようにする。 その結果、在園児の特に投運動の運動能力の向上を図る。 特に3歳児以上は遊びの中での投運動の様子を様々な方法で記録し、よりよい投運動を含む遊びを開発すると共にその指導法も検討し改善していくことで一人ひとりの発達を促す。
----------	--

事業後

4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 投運動に限らず幅広く運動に取り組めるように物的・人的環境を整備した。 遊びの中に含まれる動作を確認するためのチェックシートを準備し、動作を客観的に記録できるようにした。活動の一部は記録に残すことができたが、動画で記録するが活動中に一人記録者が必要になるため全活動を分析することが難しかったことが課題である。簡易的な動作記録の方法を確立することが必要である。
-------------	---

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 自由遊び場面と一斉活動場面の両方で実施する。自由遊び場面では、運動指導者が物的環境を整備し、子ども達に運動あそびの提案を行う。主体的に遊びに参加する中で必要な場面で指導を受ける。一斉活動場面では、指導者が設定した学年に適した遊びを知るきっかけとなることを意識する。 自由遊びと一斉活動に連続性を持たせることが重要であり、専任指導者の存在の有無が取り組みに大きく影響する。 特に今年度は昨年度取組んだ中でもより効果的と考えられる運動あそびを厳選し、子どもが飽きないように留意しながら繰り返し提案するようにする。 投運動を含む遊びの種類、指導案、指導者自身の評価といった記録を残す。また全国調査と同様の幼児運動能力検査を実施する。
---------	--

事業後

5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 一斉活動では、新規の遊びに加えて、子ども達が既に親しんでいる遊びも取り入れることで、多くの子が積極的に参加できている様子が見られた。年度の後半では、自由遊び中に3歳以上の子どもであれば子ども同士で遊びを進める姿が見られ、主体的な活動に繋がっていた。記録については昨年度よりも多様な記録を残すことができたが、全活動で行えなかったこと、幼児運動能力調査が予定した時期に実施できなかったことが課題である。特に運動能力調査については、特別な時間に行うのではなく遊びの中で無理なく実施できるようにする工夫が必要であった。
-------------	---

計画時

<p>6 環境構成</p>	<p>例) 園庭でのドッジボール中の投運動指導 5歳児 一斉活動場面 遊戯室での低年齢児への投運動指導 2歳児 一斉活動場面</p> 
---------------	---

<p>事業後 6についての効果・検証</p>	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>一斉活動で提案した遊びを子どもがやりたいときに主体的に取り組めるように、園庭や遊戯室の環境を子どもの登園前に整えるようにすることで、くり返し遊ぶ姿が見られた。環境構成を新たに整えていくことも必要であるが、ある一定期間恒例となる環境構成を意識することが遊びの継続性に繋がったと考えられる。0・1歳の低年齢の子は保育者が人的環境としてくり返し一緒に遊ぶようにさらに意識した方が遊びの継続性が高まると感じた。</p>
----------------------------	--

<p>7 期待される効果 児童の姿</p>	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <p>投運動能力の向上に加え、全身の運動能力の向上が期待される。さらにそれによって、遊びの質の向上と怪我の減少も期待される。また運動を通して達成感を味わうことによる運動有能感の向上による肯定的な自己概念の形成の芽生えが期待される。投運動を含む遊びをより好むようになり、より主体的・積極的に投運動を行うようになる。一人ひとりが自分なりに達成感を感じ、運動に対してより自信を持つようになる。</p>
---------------------------	--

<p>事業後 7についての効果・検証</p>	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>ドッジボールなど勝敗がつき集団で行うルールのある遊びについて、最初に提案する際はあえて勝敗は意識しないこと、小グループで実施することといった配慮をした。このため、比較的他者との優劣を気にすることなく、多くの子どもが楽しむ姿が見られた。このような配慮は肯定的な自己概念の形成を支えるものと考えられる。運動有能感が高い子が目立ちやすいが、むしろ低めの子の課題や遊びの姿に注目する必要があると感じている。</p>
----------------------------	--

<p>8 効果検証 総括</p>	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <p>昨年度から継続して行ってきたことで、進級児が前年度に経験をしていることから1歳児以上は一斉活動で運動遊びをすることへの期待や積極性が高かった。こちらが意図した遊びによく取組み、豊かな運動経験に繋げることができたと捉えている。今年度は昨年度よりも計画・記録について充実を図ったが、この点は引き続き改善の余地がある。また客観的な評価については、正確性と簡便性を併せ持つことが必要であり、今後運動遊びとその動きを記録する方法の開発が必要である。本事業について今年度は昨年度からの継続事業であるが、完全に継続した部分と今年度ならではの新規性を明確にすることが必要であると感じた。今後もさらに継続していく際にはこの点を意識していきたい。本事業の活動が多くの保育者に認知され、積極的な関りが見られていることは継続事業の良さであり、園全体の運動遊びの質の向上に寄与していると感じる。</p>
----------------------	---